



東リ株式会社  
証券コード:7971



明日の地球を思うこと

# TOLI REPORT

株主・投資家のみなさまへ  
第146期のご報告 (2009年4月1日 ~ 2010年3月31日)

## ひとつの空間について考えることは、 そこに集まる人や、自然環境について考えること。

快適で感性豊かな空間を提案するトータルインテリアメーカーとして、東リがお届けするのは、「365日のビューティフル」。人を包みこむ空間・自然・社会を見据えた、大きな視野でインテリアを考えています。



東リコーポレートシンボル「365日のビューティフル」

やわらかな曲線でTの字を型どったフォルムは、無限の可能性に挑戦する東リの姿勢を。美しく鮮やかなカラーは、毎日の生活を自由に描く豊かな感性を。浮かび上がるTOLIの文字は、確かな技術力と国際性を表現しています。

株主・投資家のみなさまにはますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。平素は格別のご支援ご愛顧を賜り、まことに有難く厚く御礼申し上げます。

さて、このたび第146期(2009年4月1日～2010年3月31日)を終了いたしましたので、当社グループの事業の概況および決算の状況などをご報告申し上げます。

### 当社グループの経営の基本方針

当社グループは、経営理念として<インテリア事業を通じて生活文化の向上に貢献する><顧客中心主義を行動規範とする><トータルインテリアのリーディングカンパニーを目指す>の3つを掲げ、事業活動を行っております。『すべてはお客様のために』を行動指針とし、住宅やオフィス、学校、医療・福祉

施設、商業施設など、あらゆる住・生活空間に豊かさをご提供するものづくりやサービスに努めることで、企業価値の向上に取り組んでおります。

また、法令を遵守することはもちろん、地球環境保全にも配慮するなど社会に対する責任を果たすべく、良識ある健全な企業活動に徹し、世の中から信頼され期待される企業グループを目指しております。

### 当社グループの営業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、輸出の増加に支えられ持ち直しの動きが見られるものの、失業率が高止まりし、設備投資は低迷するなど厳しい状況が続きました。インテリア業界におきましては、建築着工量の減少傾向に歯止めがかからず、内装工事の

需要は低い水準で推移したことから、経営環境は一層厳しさを増しました。

こうしたなか、当社グループは中期経営計画「変革と挑戦2011」に基づき、事業収益性を改善し成長力を高める取り組みを推し進めてまいりました。結果といたしまして、当連結会計年度における売上高は81,330百万円(前期比10.9%減)、経常利益は1,094百万円(前期比60.4%増)、当期純利益は506百万円(前期比37.9%増)となりました。

### 対処すべき課題

当社グループは、中期経営計画「変革と挑戦2011」の重点戦略目標達成に向けた取り組みを推進しております。当社グループは、業界を牽引するトータルインテリアメーカーとして、その社会的使命を認識し、お客様に快適



Flooring



Wall

Curtain



なライフスタイルをご提案するため、きめ細かな商品展開や積極的な販売促進に尽力してまいります。中期経営計画を着実に推進することを通じ、原油価格の変動に伴う主要原材料コストの上昇や競争激化など不透明な経営環境課題を乗り越え、当社グループがさらに強靱な事業基盤を確立し、成長を加速させることが重要な経営課題と考えております。

また、当社グループは、メーカーとして、「環境保全」や「安全品質」に対する取り組みは最優先課題の一つであると認識しております。人と地球にやさしい企業グループでありたい、という思いを「東リ エコスピリット」として表わし、低炭素化の推進をはじめとするさまざまな側面から、真剣に環境問題に取り組んでおります。限りある資源を有効に活用しながら、人と地球にやさしい商品の研究開発に努めて皆さまにご提供していくことで、企業

市民としての責任を果たし、「世の中から信頼され、期待される」企業グループであり続けるよう、努力してまいります。

当社グループは、会計をはじめとするあらゆる業務の適正を確保することも重要な経営課題と認識しております。当社グループでは、内部統制報告制度に対応した内部統制の評価管理体制を構築・運用しており、これをさらに推し進めることで、企業経営のより一層の効率化・明瞭化とガバナンス体制の強化に取り組んでまいります。

株主・投資家のみなさまにおかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

柏原賢二

納入実績

エリア	物件名
北海道	新千歳空港国際線旅客ターミナルビル
北海道	北洋大通センター
青森県	東北新幹線 新青森駅
宮城県	セントラル自動車本社・工場
新潟県	新潟駅南口再開発プロジェクト LEXN
長野県	北野病院
東京都	立川市役所新庁舎
神奈川県	パシフィコ横浜 会議センター
愛知県	ヤマザキマザックニュータワー・美術館
愛知県	中区錦2丁目計画(小島ビル)
大阪府	梅田阪急ビル オフィスタワー
大阪府	梅田ゲートタワー
広島県	福山大学三十三番館
香川県	全日空ホテルクレメント高松宴会場
福岡県	ヒルトップテラス
佐賀県	国立病院機構佐賀病院

納入物件



●ララガーデン長町  
(宮城県)

・レアクラウドV、GX200、GX300、  
テラウッド



●堂島アバンザ  
(大阪府)

・ノティス、GX300



●レストヴィラ赤塚  
(東京都)

・メルウッド、腰壁シート

## 塩ビ製品事業

塩ビ製品事業につきましては、ワックスメンテナンスが不要なビニル床シート「ノンワックスリウム」や、表面がフラットな防滑性ビニル床シート「NSフラッティ」など、高い技術力を生かした機能性商品が好調に推移しました。しかしながら、商業施設での需要が低調で塩ビタイルの売上が減少したことから、塩ビ製品事業の当連結会計年度の売上高は26,920百万円(前期比12.7%減)、営業利益は1,439百万円(前期比31.5%減)となりました。

## 主な製品

## ◆ビニル床シート「ノンワックスリウム」

緻密な塩ビ樹脂層のインレイド構造により、ワックスメンテナンスが不要で、耐久性と抗菌性、耐薬品性に優れたビニル床シートです。

## ◆ビニル床シート「ニュースタンロード」

一般ビニル床シートと比較して、耐動荷重性に優れているほか、表層部に熱に強い特殊なビニル樹脂を用いているため、耐熱軟化性にも優れた機能性ビニル床シートです。

## ◆ビニル床シート「フロアリウムラティス」

マットな表情で、抗菌機能を有したフロアリウムプレミアシリーズの新商品です。

## ◆ビニル床シート「NSフラッティネオ」

「フラットだけど滑りにくい、フラットだからメンテナンスしやすい」マンションの開放廊下やバルコニーでご使用いただけるフラットな防滑性ビニル床シートです。



ノンワックスリウム TS7006 TS7008



フロアリウムラティス 20FL708



NSフラッティネオ NS4703

## 【塩ビ製品事業の連結売上高推移】

■2009年度塩ビ製品事業  
連結セグメント売上高構成比(%)



■塩ビ製品事業  
連結セグメント売上高推移(単位:百万円)



繊維製品事業

繊維製品事業につきましては、ホテル等のコミュニティ施設向けローラーカーベットの売上が前年を下回りましたが、環境対応商品の需要拡大によりグリーン購入法適合タイルカーベット「GA-100G」が売上を伸ばし、新製品のエコマーク認定タイルカーベット「GA-100EM」も発売以降、好調な売れ行きとなっております。また、医療・福祉・教育等各種施設向けの「コントラクトカーテン」が堅調に推移したことから、繊維製品事業の当連結会計年度の売上高は26,447百万円(前期比6.1%減)、営業利益は1,304百万円(前期比258.6%増)となりました。

主な製品

◆東リテキスタイルフロアTX-1000

和の機能美や畳文化にも通じる「平織」の良さを、最新の技術でタイルカーベットの採り入れました。ナチュラルな素材感のあふれる全く新しいタイプの繊維床材で、モダンな空間づくりを提案してまいります。

◆東リカーテン

「elure(エルーア 2009-2011)」「I'm Home:ただいま」

家族はそれぞれ色々な地域で離れて生活していても、空の下でつながっている。窓を開けて見上げる空の下に、今日も家族が元気に暮らしている。

そんな思いを新エルーアの見本帳の表紙で表現しました。

東リは、この青い空と白い雲を通じて「喜び」「希望」「安心」「コミュニケーション」「期待」を託しています。

【繊維製品事業の連結売上高推移】

■2009年度繊維製品事業  
連結セグメント売上高構成比(%)



内円:前期  
外円:当期

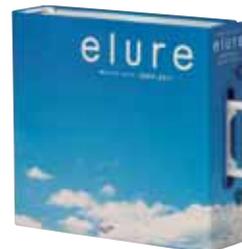
■繊維製品事業  
連結セグメント売上高推移(単位:百万円)



エルーア KSA5040 KSA5235 KSA5421



モールシティ  
GX6042 GX3004(GX300)



エルーア

その他事業

その他事業につきましては、木目調化粧仕上材「リアルデコ」が商業施設や医療・福祉施設などで多く採用され売上を伸ばしましたが、一般の壁装材は売上が前年を下回りました。また、販売子会社における仕入商品や工事の売上が減少したことから、その他事業の当連結会計年度の売上高は27,962百万円(前期比13.5%減)、営業損失は90百万円(前期営業損失 231百万円)となりました。

主な製品

◆壁装材「パワー1000 2009-2012」

室内環境向上の一環として新しく消臭機能を向上させた壁紙「エアファインパワー」シリーズを取録しております。また、抗菌性能などの機能性壁紙も充実させました。さらに、住宅に限らず商業・医療・福祉施設や公共施設等、非住宅でも使用できるよう、不燃認定商品を318点取り揃えました。全点F☆☆☆☆取得品です。

◆壁装材「不燃認定壁紙1000 2009-2012」

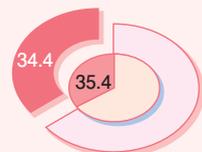
不燃下地(一部金属下地を除く)及び不燃石膏ボードに直張りした際に、不燃認定を取得できる壁紙「不燃認定壁紙1000 2009-2012」を発売いたしました。不燃仕上げが必要とされる場所での使用に適しています。



パワー1000 エアファインパワー WVP3054

【その他事業の連結売上高推移】

■2009年度その他事業  
連結セグメント売上高構成比(%)



内円:前期  
外円:当期

■その他事業  
連結セグメント売上高推移(単位:百万円)



パワー1000  
エアファインパワー WVP3063



パワー1000  
不燃認定フィルム抗菌汚れ防止  
WVP3097

## 業績推移

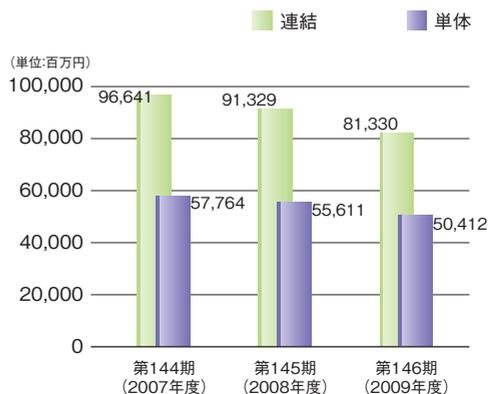
(単位:百万円)

連 結	第144期 (2007年度)	第145期 (2008年度)	第146期 (2009年度)
売上高	96,641	91,329	81,330
経常利益	618	682	1,094
当期純利益	152	366	506
1株当たり当期純利益 (円)	2.40	5.82	8.11
総資産	70,198	66,805	64,961
純資産	25,769	24,621	24,930
1株当たり純資産 (円)	402.76	391.05	390.52

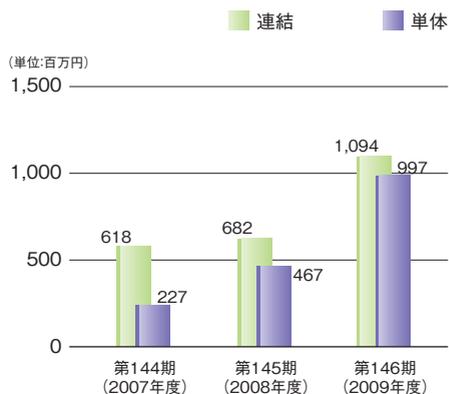
(単位:百万円)

単 体	第144期 (2007年度)	第145期 (2008年度)	第146期 (2009年度)
売上高	57,764	55,611	50,412
経常利益	227	467	997
当期純利益	27	117	457
1株当たり当期純利益 (円)	0.44	1.86	7.33
総資産	58,592	56,876	56,022
純資産	21,360	20,058	20,315
1株当たり純資産 (円)	337.01	321.82	321.41

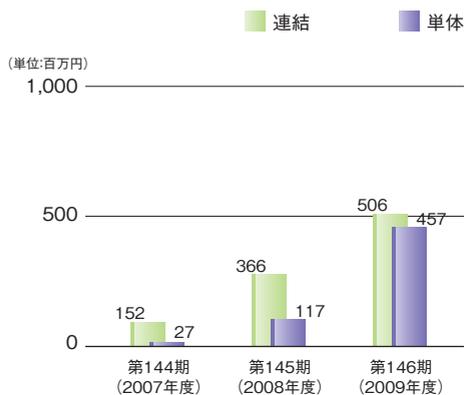
## ■ 売上高



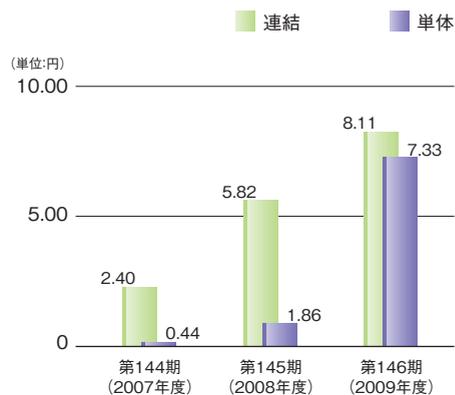
## ■ 経常利益



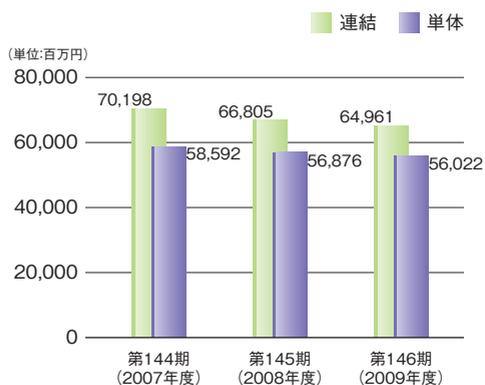
■ 当期純利益



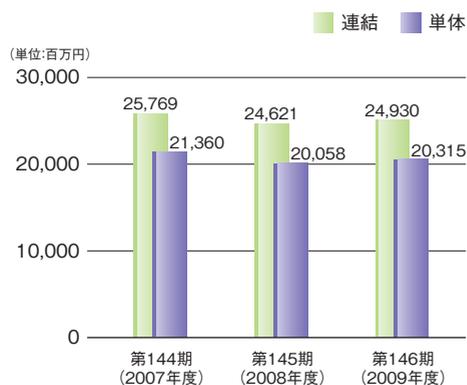
■ 1株当たり当期純利益



■ 総資産



■ 純資産



連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第145期 (2009年3月31日現在)	第146期 (2010年3月31日現在)	増減
流動資産	40,513	39,320	△ 1,193
現金及び預金	5,454	7,389	1,935
受取手形及び売掛金	24,767	22,542	△ 2,225
有価証券	713	714	0
たな卸資産	8,567	7,701	△ 865
繰延税金資産	688	412	△ 276
その他	793	814	20
貸倒引当金	△ 471	△ 254	216
固定資産	26,291	25,641	△ 650
有形固定資産	18,333	17,504	△ 828
建物及び構築物	6,334	6,034	△ 300
機械装置及び運搬具	2,691	2,270	△ 420
土地	8,685	8,685	△ 0
その他	621	513	△ 107
無形固定資産	1,032	1,034	2
投資その他の資産	6,926	7,102	175
投資有価証券	2,901	3,177	275
長期貸付金	267	200	△ 67
繰延税金資産	2,078	1,894	△ 183
その他	2,003	2,244	241
貸倒引当金	△ 323	△ 414	△ 90
資産合計	66,805	64,961	△ 1,844

注)1.有形固定資産の減価償却累計額 33,756百万円 34,771百万円  
2.受取手形割引高 38百万円 29百万円

POINT 1

当期末の総資産は、前期末に比べ1,844百万円減少し、64,961百万円となりました。流動資産は、前期末に比べ1,193百万円減少し、39,320百万円となりました。この主な要因は、売上債権やたな卸資産の減少等によるものです。固定資産は、前期末に比べ650百万円減少し、25,641百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産の減少等によるものです。

POINT 3

当期末の純資産合計は24,930百万円となり、自己資本比率は、前期末の36.5%から38.0%となりました。

科目	第145期 (2009年3月31日現在)	第146期 (2010年3月31日現在)	増減
流動負債	26,612	26,061	△ 551
支払手形及び買掛金	22,489	20,487	△ 2,002
短期借入金	340	350	10
1年内返済長期借入金	600	2,100	1,500
その他	3,182	3,123	△ 59
固定負債	15,571	13,969	△ 1,602
長期借入金	9,200	7,500	△ 1,700
退職給付引当金	4,126	4,066	△ 60
その他	2,245	2,402	157
負債合計	42,184	40,030	△ 2,153
株主資本	23,989	24,205	215
資本金	6,855	6,855	—
資本剰余金	6,488	6,423	△ 64
利益剰余金	11,710	11,780	69
自己株式	△ 1,064	△ 853	210
評価・換算差額等	383	478	94
その他有価証券評価差額金	383	478	94
少数株主持分	248	246	△ 1
純資産合計	24,621	24,930	309
負債及び純資産合計	66,805	64,961	△ 1,844

POINT 2

当期末の負債合計は、前期末に比べ2,153百万円減少し、40,030百万円となりました。流動負債は、前期末に比べ551百万円減少の26,061百万円、固定負債は、前期末に比べ1,602百万円減少の13,969百万円となりました。流動負債が減少した主な要因は、支払手形及び買掛金の減少によるものです。また、固定負債が減少した主な要因は、長期借入金の返済予定が一年内になったこと等によるものです。

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	第145期 (2008年4月1日～ 2009年3月31日)	第146期 (2009年4月1日～ 2010年3月31日)	増減
売上高	91,329	81,330	△ 9,999
売上原価	67,606	58,412	△ 9,194
売上総利益	23,722	22,917	△ 805
販売費及び一般管理費	22,995	21,772	△ 1,223
営業利益	727	1,145	417
営業外収益	425	405	△ 20
営業外費用	470	455	△ 14
経常利益	682	1,094	412
特別利益	336	41	△ 294
特別損失	479	144	△ 335
税金等調整前当期純利益	538	991	452
法人税、住民税及び事業税	208	89	△ 119
法人税等調整額	△ 46	394	440
少数株主利益	9	1	△ 7
当期純利益	366	506	139

注)1株当たり当期純利益

5円82銭

8円11銭

## POINT 4

当期の売上高は、建築着工量の減少傾向に歯止めがかからず、内装工事の需要は低い水準で推移したことから、前期に比べ10.9%減の81,330百万円となりました。損益面では、経常利益は前期に比べ60.4%増の1,094百万円、当期純利益は、前期に比べ、37.9%増の506百万円となりました。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	第145期 (2008年4月1日～ 2009年3月31日)	第146期 (2009年4月1日～ 2010年3月31日)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,168	4,556	1,388
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,072	△ 1,821	△ 749
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 724	△ 848	△ 123
現金及び現金同等物の増加額	1,371	1,886	515
現金及び現金同等物の期首残高	4,783	6,155	1,371
現金及び現金同等物の期末残高	6,155	8,041	1,886

## POINT 5

当期末における現金及び現金同等物は、前期末に比べ1,886百万円増加し、8,041百万円(前期末6,155百万円)となりました。

## 【営業活動によるキャッシュ・フロー】

商品販売やサービス提供など本来の事業によって、どれだけの資金を獲得したかを表しています。営業活動による資金収支は、4,556百万円(前期3,168百万円)となりました。当期純利益の増加やたな卸資産の減少等により、前期に比べ増加しました。

## 【投資活動によるキャッシュ・フロー】

将来の利益獲得、資金運用のためにどれだけの資金を支出し、または回収したかを表しています。投資活動による資金収支は、△1,821百万円(前期△1,072百万円)となりました。有形固定資産の取得による支出の減少等があったものの、無形固定資産や投資有価証券の取得による支出の増加等により、前期に比べ減少しました。

## 【財務活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動と投資活動を維持するために、どの程度の資金が調達・返済されたかを表しています。財務活動による資金収支は、△848百万円(前期△724百万円)となりました。自己株式の売却による収入があったものの、借入金の減少等により、前期に比べ減少しました。

## 連結株主資本等変動計算書 (2009年4月1日～2010年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
前期末残高	6,855	6,488	11,710	△ 1,064	23,989	383	383	248	24,621
当期変動額									
剰余金の配当			△ 436		△ 436				△ 436
当期純利益			506		506				506
自己株式の取得				△ 8	△ 8				△ 8
自己株式の処分		△ 64		219	154				154
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						94	94	△ 1	93
当期変動額合計	—	△ 64	69	210	215	94	94	△ 1	309
当期末残高	6,855	6,423	11,780	△ 853	24,205	478	478	246	24,930

貸借対照表

(単位：百万円)

科目	第145期 (2009年3月31日現在)	第146期 (2010年3月31日現在)	増減
流動資産	35,484	35,241	△ 242
固定資産	21,391	20,780	△ 611
有形固定資産	13,275	12,720	△ 554
無形固定資産	842	884	41
投資その他の資産	7,273	7,175	△ 98
資産合計	56,876	56,022	△ 854
流動負債	22,467	22,988	521
固定負債	14,350	12,717	△ 1,633
負債合計	36,817	35,706	△ 1,111
株主資本	19,698	19,864	166
資本金	6,855	6,855	—
資本剰余金	6,488	6,423	△ 64
利益剰余金	7,418	7,439	21
自己株式	△ 1,064	△ 853	210
評価・換算差額等	360	450	90
純資産合計	20,058	20,315	257
負債及び純資産合計	56,876	56,022	△ 854

注)有形固定資産の減価償却累計額 24,517百万円 25,178百万円

損益計算書

(単位：百万円)

科目	第145期 (2008年4月1日～ 2009年3月31日)	第146期 (2009年4月1日～ 2010年3月31日)	増減
売上高	55,611	50,412	△ 5,199
売上原価	39,783	34,334	△ 5,448
売上総利益	15,828	16,077	249
販売費及び一般管理費	15,428	15,123	△ 304
営業利益	400	953	553
営業外収益	499	453	△ 46
営業外費用	433	409	△ 23
経常利益	467	997	530
特別利益	300	38	△ 262
特別損失	591	204	△ 386
税引前当期純利益	175	831	655
法人税・住民税及び事業税	40	42	1
法人税等調整額	17	331	314
当期純利益	117	457	340

注)1株当たり当期純利益 1円86銭 7円33銭

株主資本等変動計算書

(2009年4月1日～2010年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本								評価・換算差額等		純資産 合計	
	資本金	資本準備金	資本剰余金 その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	利益剰余金 その他利益 剰余金 別途積立金	利益剰余金 繰越利益剰余金 合計	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
前期末残高	6,855	1,789	4,698	6,488	6,800	618	7,418	△ 1,064	19,698	360	360	20,058
当期変動額												
剰余金の配当						△ 436	△ 436		△ 436			△ 436
別途積立金の取崩					△ 1,800	1,800	—					
当期純利益						457	457		457			457
自己株式の取得								△ 8	△ 8			△ 8
自己株式の処分			△ 64	△ 64				219	154			154
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)										90	90	90
当期変動額合計	—	—	△ 64	△ 64	△ 1,800	1,821	21	210	166	90	90	257
当期末残高	6,855	1,789	4,633	6,423	5,000	2,439	7,439	△ 853	19,864	450	450	20,315

# インテリアトレンドショー JAPANTEX 2010

## JAPANTEX 2010 開催概要

- 名称……インテリアトレンドショー 第29回 JAPANTEX 2010  
会期……平成22年11月17日(水)～19日(金) 10:00～18:00 最終日は17:00まで  
主催……社団法人日本インテリアファブリックス協会  
会場……東京ビッグサイト  
          西展示場1・2ホール(東京国際展示場)  
テーマ……good day, good style  
          「飾育」つながる、はぐくむ、まなぶ。



(注)上の写真は昨年の「東リブース」です。



■ 当社の概要

(2010年3月31日現在)

創立 1919年(大正8年)12月1日  
 資本金 6,855百万円  
 従業員数 728名  
 主な事業内容 ・塩ビ製品……塩ビタイル、塩ビシート  
 ・繊維製品……カーペット、カーテン  
 ・その他……壁装材、床材用接着剤などの  
 インテリア製品の製造、販売

■ 本社および事業所

(2010年3月31日現在)

本社 兵庫県伊丹市東有岡5-125  
 東京本部 東京都港区東新橋2-10-4  
 工場 伊丹、厚木  
 ショールーム 札幌、東京、名古屋、大阪  
 営業所所在地 札幌、盛岡、仙台、さいたま、水戸、千葉、東京、八王子、  
 横浜、長野、新潟、名古屋、石川、静岡、京都、大阪、  
 神戸、岡山、広島、高松、松山、福岡、北九州、鹿児島

■ 役員

(2010年6月25日現在)

〈 取締役・監査役 〉 代表取締役社長 柏原賢二  
 専務取締役 藤田佑治 \*1  
 常務取締役 吉森忠重 \*1  
 取締役 大谷正男 \*1  
 取締役 永嶋元博 \*1  
 常勤監査役 福岡隆志  
 常勤監査役 尾田正孝  
 監査役 堀村不器雄 \*2  
 監査役 春名一典 \*2

〔注〕 \*1印を付した4氏は、取締役と執行役員の兼務者であります。  
 \*2印を付した2氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

〈 執行役員 〉 執行役員 浪花芳法  
 執行役員 武田松利  
 執行役員 小谷良道  
 執行役員 鈴木潤  
 執行役員 松本渉  
 執行役員 安嶋二郎  
 執行役員 江辺晴信

● 株主×モ

決算期 3月31日  
 定時株主総会 6月  
 基準日 定時株主総会 3月31日  
 期末配当金 3月31日  
 中間配当金 9月30日

単元株式数 1,000株

株主名簿管理人及び  
 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
 事務取扱場所 〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号  
 (お問い合わせ先) 0120-094-777 (通話料無料)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

【お知らせ】 ● 株式関係の手続きのご請求は、次の三菱UFJ信託銀行株式会社のフリーダイヤルおよびインターネットでも24時間承っております。

・電話(通話料無料) 0120-244-479(本店証券代行部)  
 0120-684-479(大阪証券代行部)  
 ・ホームページアドレス <http://www.tr.mufg.jp/>

公告の方法 電子公告の方法により、下記の東リホームページに掲載します。但し、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。

ホームページアドレス

<http://www.toli.co.jp>

※ 本誌に関する注意事項

本誌に記載されている当社グループの計画・戦略・見通しのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しです。これらは、現時点で入手可能な情報に基づいた当社グループの仮定および判断によるものであり、実際の業績等は、さまざまな要因により、これらの見通しと異なる可能性があります。

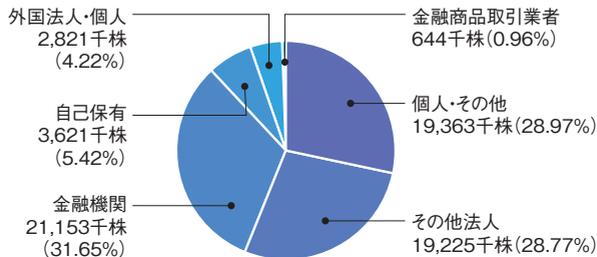
■ 株式数および株主数

(2010年3月31日現在)

- ・発行可能株式総数…………… 141,603千株
- ・発行済株式総数…………… 66,829千株
- ・株主数…………… 6,358名
- ・1人当たりの平均持株数…………… 10,511株

■ 株式分布状況

(2010年3月31日現在)



■ 大株主

(2010年3月31日現在)

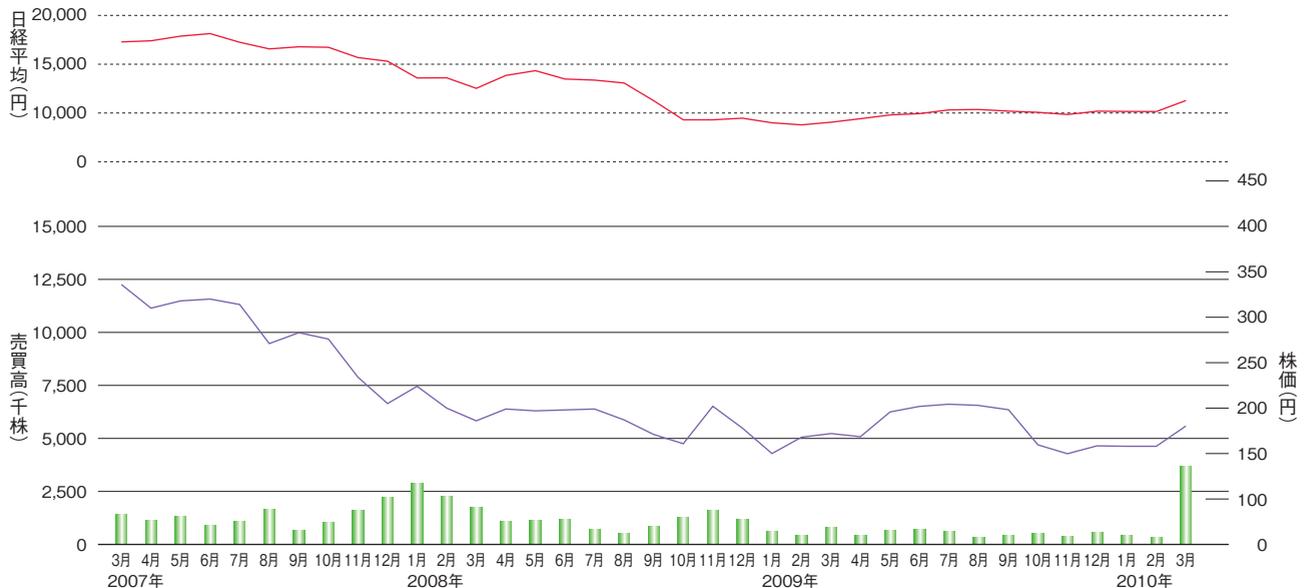
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	4,551	7.2
株式会社トクヤマ	2,780	4.3
双日株式会社	2,532	4.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,279	3.6
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,777	2.8
三信株式会社	1,730	2.7
NCT信託銀行株式会社(投信口)	1,695	2.6
帝人テクノプロダクツ株式会社	1,489	2.3
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,485	2.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,298	2.0

\* 当社の自己保有株式は、上表より除いております。

\* 持株比率は、自己株式(3,621千株)を控除して計算しております。

■ 株価と売買高の推移(東京証券取引所)

■ 売買高(千株) ■ 株価(円) ■ 日経平均(円)



# 東リ株式会社

<http://www.toli.co.jp>

当社は、インターネット上にホームページを開設し、会社情報、商品紹介、レポートやニュースをご案内いたしております。



TOLI ECO SPIRIT  
東リ エコスピリット

